



ファッション色彩能力検定1級C科目 解答作成ガイド

0. ファッション色彩能力検定 1 級 C 科目の概要

ファッション色彩能力検定試験 1 級 C 科目は、与えられた資料から提案を導く実技試験です。実際の試験では、架空のトレンドカラー情報がふたつ与えられ「資料の分析」「商品色の提案」「商品陳列における色彩構成」の 3 つの課題を作成するよう求められます。

試験時間は 3 時間で、決して十分とはいえませんが、情報を適切にとらえているか、情報を元にした提案になっているか、提案の流れに矛盾はないかなどが審査されます（※提案内容の

独自性やセンスの善し悪しなどは審査の対象にはなりません）。

この資料では第 8 回（2020.2.2 実施）の問題を使って、解答作成の手順や考え方について説明します。

慣れていないと難しく感じるかもしれませんが、最初は時間もかかるとは思いますが、過去問題やウェブ上でオープンになっているトレンドカラー情報などを使って、最初は時間を気にせずじっくり取り組んでください。何度か繰り返すうち、作業のポイントも理解できると思います。

第 8 回 1 級 C 科目 資料

NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

資料 A

家に帰れ Go Home

世界的な経済成長の結果、半世紀前と比べて私達の生活は豊かで便利になった。だが、同時にいろいろな問題も露呈する。環境問題、ふたたび明らかになる貧富の格差、デジタルネットワークの手軽さが生み出す虚実入り交じった情報、などなど。私達はこれからどこへ行くこととしているのだろうか。今はそれぞれが自分の足下を見つめ直す時なのだろう。自分自信のルーツを求め、本当の姿をもう一度見つけ出すときなのだ。家に帰れ。いつの間にか離れてしまった本当に安心できる場所を確かめにゆこう。

起源 Origin



光の射す／仄暗い／ふつふつと湧き出す感情／穏やかな変化
世界を照らす光があり、命を育む土があり、活力を生み出す炎があり、全ての源となる水がある。それは私たちが存在し、成長するために必要な力。

帰還 Return



懐かしい／湿り気のある風／瑞々しさ／健やかな／穏やかな
家に近くなるほど気持ち安らぐ。空気が体に馴染み、風に揺らぐ物音が身近な人々の囁き声になる。自分自身の根を見つめる。

忘却 Forgot



薄暗い／霞のかかった／静謐な／曖昧な
私たちは成長の引き替えに遠い記憶を心の奥へとしまい込む。仄暗く寂しげな景色に、忘れてしまった自らはじまりを感じる。

NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

資料 B

再生

成長が限界に至れば崩壊を迎える。崩壊は次への礎となり、新しい姿に再生する。私達の世界は崩壊と再生を繰り返しながら、新しいステージへと登ってゆく。再生のための化学変化に私たちは期待する。

膨張

膨らみ弾ける



弾ける しぼむ
熱運動 熱振動
ブラウン運動

内側に秘めた過剰なエネルギーは、形を歪ませながら膨らみ、ついには破裂する。期待と不安、力強さと脆さを併せ持つ色。

融解

溶ける解ける融ける



泡立つ
ゆっくり変化する
浮かぶ 消える

静かな化学反応。境界が失われ、ふたつが、三つが、ひとつになる。異質なもの混ざる。濁ったような白乳を帯びた彩り。

沈殿

溜まり積み重なる

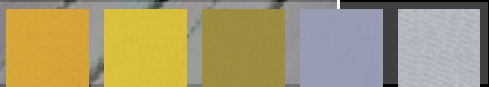


肌理細かい
ざらざらした
滑らかな 鉾物的

異質なもの分離し、重いものだけが底に沈みじわじわと固まってゆく。柔らかさと堅さが表裏となった暗い色。

拡散

漂い広がる



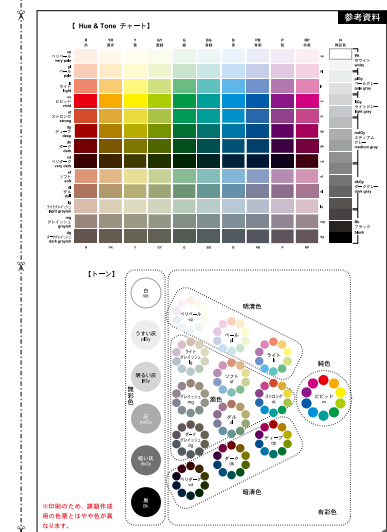
繊細 しなやかな
希薄な 揺らぎ
瞬間的な煌めき

解き放たれたように宙を漂う。中心から幾筋もの線を描きながら、遠離ってゆく。きらきらと反射する、光の色。

課題制作用に、ベーシックカラー 140 および自由に使って良い白紙が数枚配布されます。

Hue & Tone のチャートは資料として問題の冊子に掲載されています。

解答作成には、色鉛筆など、色のついた筆記用具も認められています。



1. 資料の分析【設問】

【設問】

課題 1：20xx Autumn-Winter LADIES' COLOR 予測情報の分析

資料 A・B は、来シーズン（20xx 年）の秋冬に向けたレディースウェアに対するカラートレンド情報です。

この二つの情報を整理・分析し、来シーズン秋冬に提案される色彩の傾向およびその背景にあるコンセプトやイメージの特徴を解説し、解答用紙の所定の欄に記述しなさい。また、解答欄に付随する Hue & Tone、トーンの表およびその周りの余白は、分析やその説明に必要であれば、自由に利用しなさい。

資料 A・B の色の傾向と、その背景にあるイメージやコンセプト（色に対して、どう考え、何を求めるか）を分析します。

作業のプロセスは大きく 2 つあります。

① 提案色の傾向をつかむ

資料に示された色を色相とトーンによって分類します。

そこから提案色の色相とトーンの傾向などを探ります。

② キーワードの分析

資料からキーワードを抽出し、そこに顕れる言葉の傾向を探ります。

C 科目 3 つの課題のうち、最も重要な課題です。

資料の分析が不十分だと、この後の提案も資料の内容にそぐわなくなるかもしれません。十分に時間をかけて取り組むようにしましょう。もっとも面倒な課題かもしれません。また、慣れないうちは時間がかかると思いますが、繰り返し練習し、要領がわかればある程度早くできるようになります。

【解答用紙】

ファッション色彩能力検定 1 級 C 科目 解答用紙

課題 1 資料の分析

■ 20xx Autumn-Winter LADIES' COLOR 予測情報の分析

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

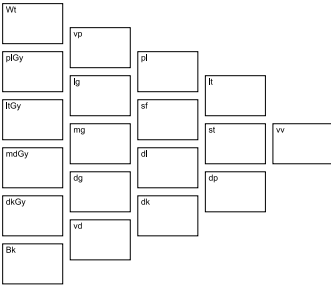
.....

.....

.....

.....

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP
vp										
pl										
lt										
vv										
st										
dp										
dk										
vd										
sf										
cl										
lg										
mg										
dg										



1. 資料の分析 - 提案色の傾向を読む step1

資料Aの色の色相、およびトーンを調べます。

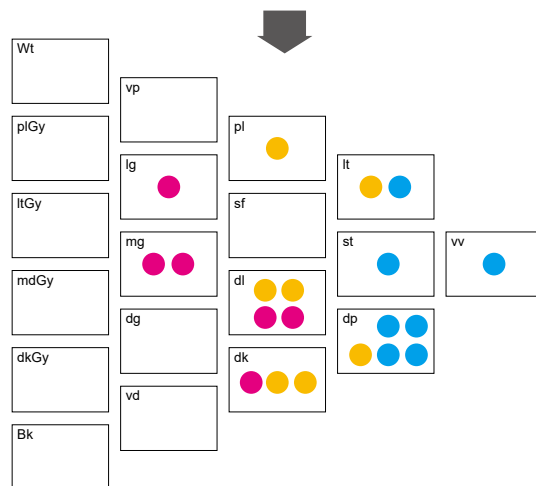
パレットに示された色を Hue & Tone, Tone の表にプロットします。

目視で判断できない場合は、問題末に添付された Hue & Tone チャートと比較しながら一番近い色を選んでください。同じ色相・トーンに分類される色が複数ある場合は、同じ欄に重複してプロットしてください。

※わかりやすくするために色を変えています。

実際の作業は同じ色でかまいません。

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP
vp										
pl										
lt										
vv										
st										
dp										
dk										
vd										
sf										
dl										
lg										
mg										
dg										



NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

資料
A

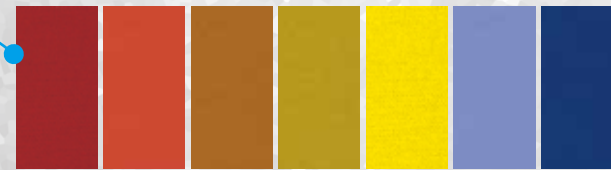
家に帰れ Go Home

世界的な経済成長の結果、半世紀前と比べて私達の生活は豊かで便利になった。だが、同時にいろいろな問題も露呈する。環境問題、ふたたび明らかになる貧富の格差、デジタルネットワークの手軽さが生み出す虚実入り交じった情報、などなど。私達はこれからどこへ行こうとしているのだろうか。

今はそれぞれが自分の足下を見つめ直す時なのだろう。自分自信のルーツを求め、本当の姿をもう一度見つけ出すときなのだ。

家に帰れ。いつの間にか離れてしまった本当に安心できる場所を確かめにゆこう。

起源 Origin



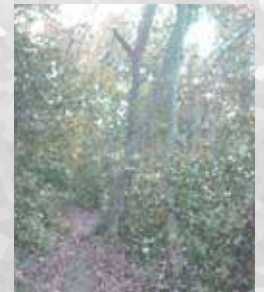
光の射す／仄暗い／ふつふつと湧き出す感情／穏やかな変化
世界を照らす光があり、命を育む土があり、活力を生み出す炎があり、全ての源となる水がある。それは私たちが存在し、成長するために必要な力。



帰還 Return



懐かしい／湿り気のある風／瑞々しさ／健やかな／穏やかな
家に近くなるほど気持ちが安らぐ。空気が体に馴染み、風に揺らぐ物音が身近な人々の囁き声になる。自分自身の根を見つける。



忘却 Forget



薄暗い／霞のかかった／静謐な／曖昧な
私たちは成長の引き替えに遠い記憶を心の奥へとしまい込む。仄暗く寂しげな景色に、忘れてしまった自らのはじまりを感じる。



1. 資料の分析 - 提案色の傾向を読む step2

資料Bの色の色相、およびトーンを調べます。

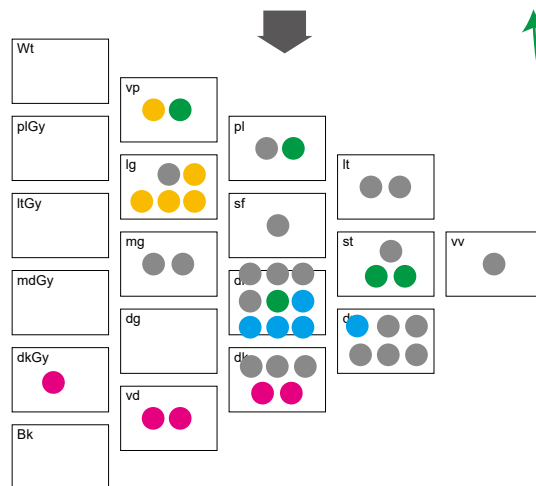
資料Aを調べた Hue & Tone, Tone の表に追加します。

同じ色相・トーンに分類される色が複数ある場合は、同じ欄に重複してプロットしてください。

※わかりやすくするために色を変えています。

実際の作業は同じ色でかまいません。

	R	YR	Y	GY	G	BG	B	PB	P	RP
vp					●			●		
pl					●			●		
lt				●				●		
vv			●							
st	●	●	●							
dp	●	●	●	●				●		
dk	●	●	●		●	●				
vd	●				●					
sf									●	
dl	●		●	●	●			●	●	●
lg					●	●			●	●
mg									●	●
dg										



NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

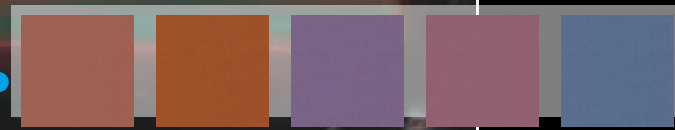
資料
B

再生

成長が限界に至れば崩壊を迎える。崩壊は次への礎となり、新しい姿に再生する。私たちの世界は崩壊と再生を繰り返しながら、新しいステージへと登ってゆく。再生のための化学変化に私たちは期待する。

膨張 膨らみ弾ける

内側に秘めた過剰なエネルギーは、形を歪ませながら膨らみ、ついには破裂する。期待と不安、力強さと脆さを併せ持つ色。



弾ける しぼむ
熱運動 熱振動
ブラウン運動

融解 溶ける解ける融ける

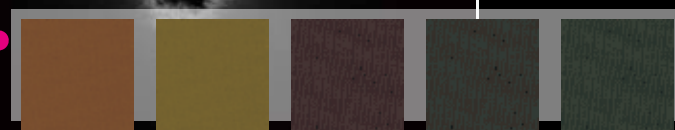
静かな化学反応。境界が失われ、ふたつが、三つが、ひとつになる。異質なものが混ざる。濁ったような白乳を帯びた彩り。



泡立つ
ゆっくり変化する
浮かぶ 消える

沈殿 溜まり積み重なる

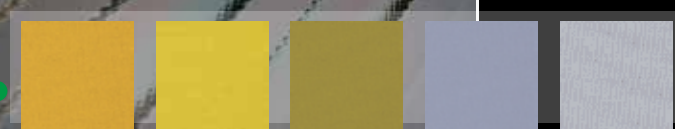
異質なものは分離し、重いものだけが底に沈みじわじわと固まってゆく。柔らかさと堅さが表裏となった暗い色。



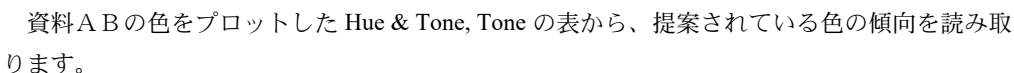
肌理細かい
ざらざらした
滑らかな 鉱物的

拡散 漂い広がる

解き放たれたように宙を漂う。中心から幾筋もの線を描きながら、遠離ってゆく。きらきらと反射する、光の色。



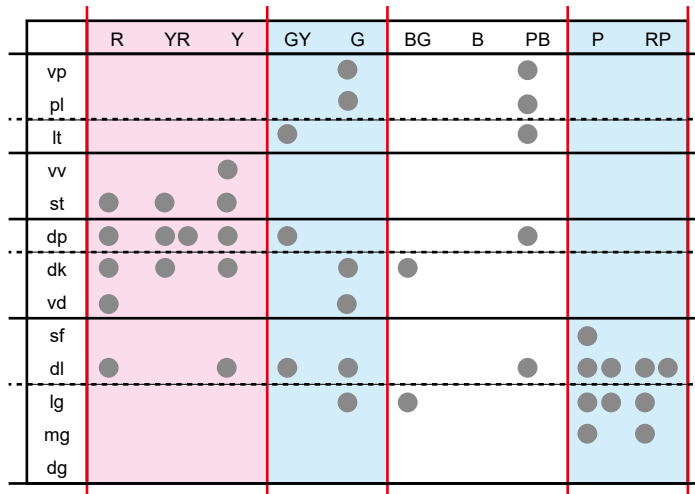
繊細 しなやかな
希薄な 揺らぎ
瞬間的な煌めき



1. 資料の分析 - 提案色の傾向を読む step4

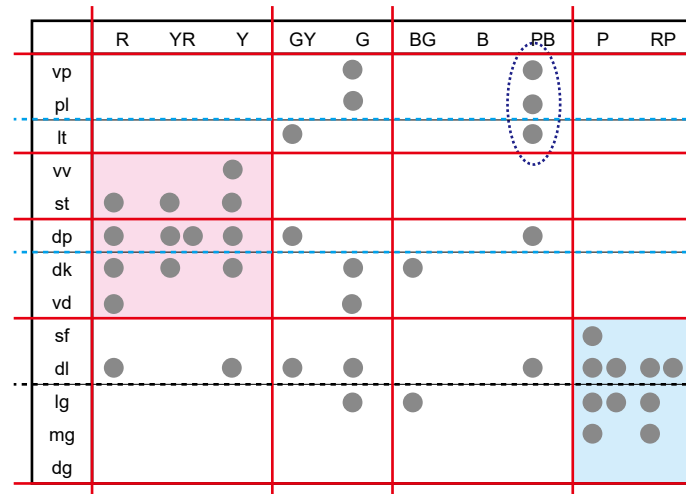
資料A Bの色をプロットした Hue & Tone, Tone の表から、提案されている色の傾向を具体的に読み取ってみましょう。

Hue & Tone



○ 色相を視点とする

暖色系が比較的多い (⇒寒色系が少ない)。
緑系はトーンが分散している。
紫系はトーンが集中している。

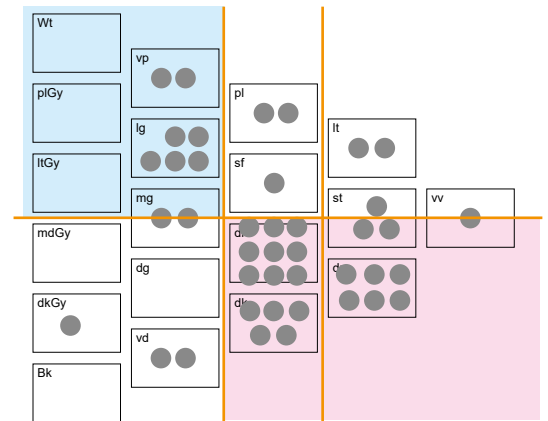


○ 色相とトーンを重ねる

暖色系は高彩度色から暗青色に集中している。
紫系は濁色に集中している。
寒色は少ないが PB 明青色に特徴を感じる



Tone



○ 明度と彩度

低彩度色は高明度に偏向
中・高緯度色は低明度に偏向

これらの結果をまとめると……

……

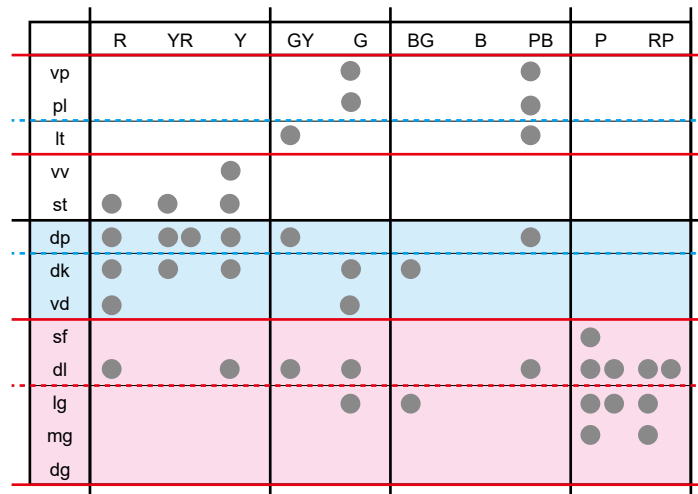
資料A・Bで提案された色の傾向は以下のようになります。

【色相・トーンの傾向】

- ・ 暖色系が比較的多い。
- ・ 暗青色が比較的多い。
- ・ 高彩度色が目立つ。

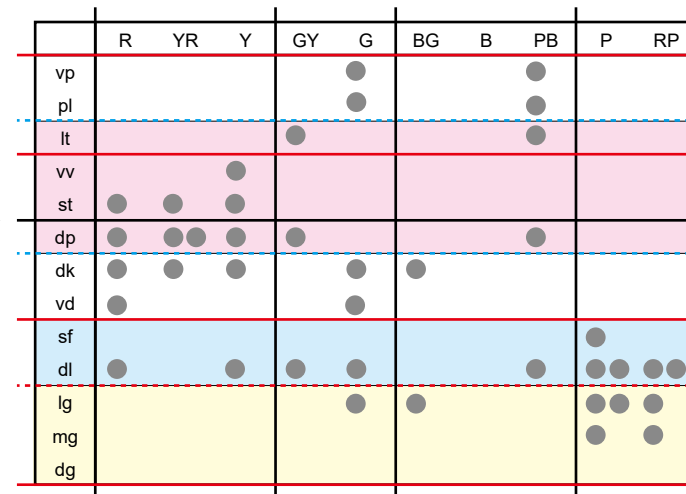
【分布のの特徴】

- ・ 暖色系と紫系に集中が見られる。
 - ・ 暖色系は高彩度から暗青色に偏り。
 - ・ 紫系が濁色に偏りがある。
- ・ PB の明青色に特徴がある。
- ・ トーンの分散はあるが緑系に特徴。
- ・ 低彩度色は比較的高明度が高い。
- ・ 中～高彩度色は比較的低明度が高い。



○ トーンを視点とする (1)

濁色系、暗青色系が比較的多い (⇒明青色系が少ない)。
暗青色系は色相が暖色よりに偏向。
濁色系は色相が紫よりに偏向。



○ トーンを視点とする (2)

高彩度色が比較的多い。
濁色系の彩度によるばらつきはない。

1. 資料の分析 - キーワードの抽出と整理 step1

資料A・Bのキーワードを抽出します。

目についての言葉をどんどんチェックしてゆきましょう。

提案の共通した視点を探り、シーズン全体のイメージを総括するための作業です。

NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

資料
A

家に帰れ Go Home

世界的な経済成長の結果、半世紀前と比べて私達の生活は豊かで便利になった。だが、同時にいろいろな問題も露呈する。環境問題、ふたたび明らかになる貧富の格差、デジタルネットワークの手軽さが生み出す虚実入り交じった情報、などなど。私達はこれからどこへ行こうとしているのだろうか。

今はそれぞれが自分の足下を見つめ直す時なのだろう。自分自信のルーツを求め、本当の姿をもう一度見つけ出すときなのだ。

家に帰れ。いつの間にか離れてしまった本当に安心できる場所を確かめにゆこう。

起源 Origin



光の射す 灰暗い ぐふつと湧き出す感情 穏やかな変化
世界を照らす光があり、命を育む土があり、活力を生み出す炎があり、全ての源となる水がある。それは私たちが存在し、成長するために必要な力。



帰還 Return



懐かしい 湿り気のある風 瑞々しさ 健やかな 穏やかな
家に近くなるほど気持ち安らぐ。空気が体に馴染み、風に揺らぐ物音が身近な人々の囁き声になる。自分自身の根を見つける。



忘却 Forgot



薄暗い 霞のかかった 静謐な 曖昧な
私たちは成長の引き替えに遠い記憶を心の奥へとしまい込む。灰暗く寂しげな景色に、忘れてしまった自らのはじまりを感じる。



NEXT SEASON / 20xx Autumn - Winter LADIES' COLOR

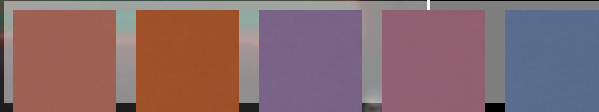
資料
B

再生

成長が限界に至れば崩壊を迎える。崩壊は次への礎となり、新しい姿に再生する。私達の世界は崩壊と再生を繰り返しながら、新しいステージへと登ってゆく。再生のための化学変化に私たちは期待する。

膨張

膨らみ弾ける

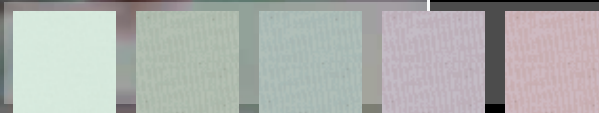


内側に秘めた過剰なエネルギーは、形を歪ませながら膨らみ、ついには破裂する。期待と不安、力強さと脆さを併せ持つ色。

弾ける しぼむ
熱運動 熱振動
ブラウン運動

融解

溶ける解ける融ける

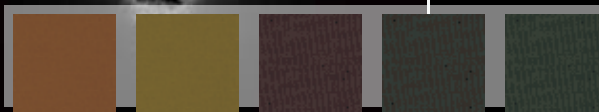


静かな化学反応、境界が失われ、ふたつが、三つが、ひとつになる。異質なものが混ざる、濁ったような白乳を帯びた彩り。

泡立つ
ゆっくり変化する
浮かぶ 消える

沈殿

溜まり積み重なる

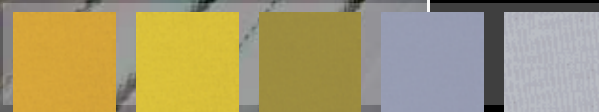


異質なものは分離し、重いものだけが底に沈みじわじわと固まってゆく。柔らかさと堅さが表裏となった暗い色。

肌理細かい
ざらざらした
滑らかな 鉱物的

拡散

漂い広がる



解き放たれたように宙を漂う。中心から幾筋もの線を描きながら、遠離れてゆく。きらきらと反射する、光の色。

繊細 しなやかな
希薄な 揺らぎ
瞬間的な煌めき

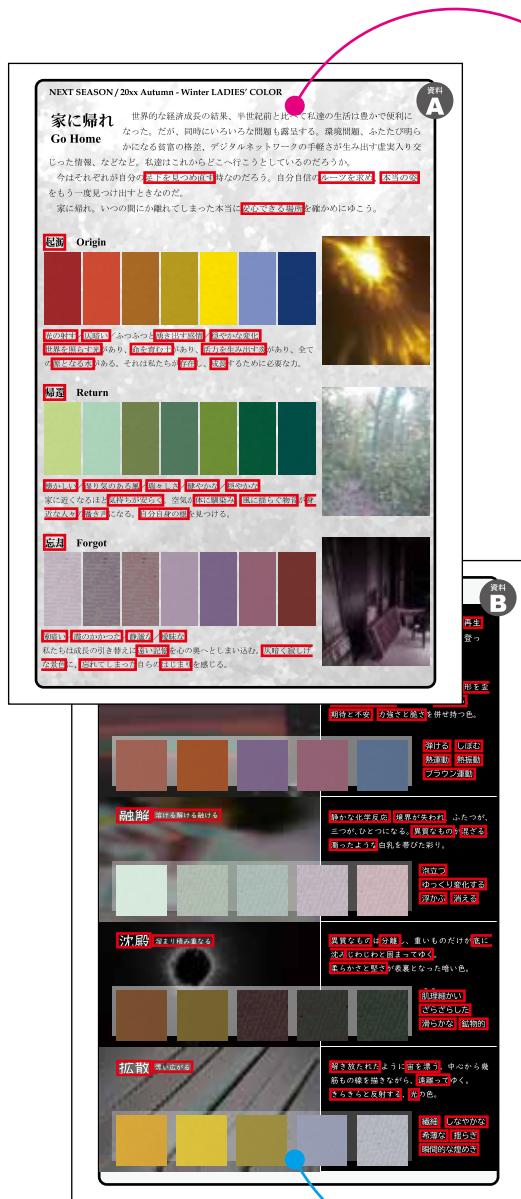
この段階では、数多くの言葉を集めることが重要です。ひとつひとつ吟味する必要はありません。目に付いた言葉を拾い集めるつもりで。提案とは無関係な言葉が少しばかり混じっていてもかまいません。この後の作業で、提案とあまり関係のない言葉はふり落とされます。

1. 資料の分析 - キーワードの抽出と整理 step2

資料A・Bから抽出したキーワードを書き出します。

同じ言葉があっても、繰り返し書き出しておきましょう。

また、似ている言葉はグループにしてみます。



足下を見つめ直す
ルーツを求め
本当の姿
安心できる場所
起源
光の射す
仄暗い
湧き出す感情
穏やかな変化
世界を照らす光
命を育む土
活力を生み出す炎

新しい姿
崩壊と再生
新しいステージ
化学変化
膨張
膨らみ弾ける
内部に秘めた
過剰なエネルギー
形を歪ませながら
膨らみ
破裂する
期待と不安
力強さと脆さ
弾ける
しばむ
熱運動
熱振動
ブラウン運動
融解
溶ける解ける融ける
静かな化学反応

源となる水
存在
成長
帰還
懐かしい
湿り気のある風
瑞々しさ
健やかな
穏やかな
気持ちが安らぐ
体に馴染み

境界が失われ
異質なもの
混ざる
濁ったような
泡立つ
ゆっくり変化する
浮かぶ
消える
沈殿
溜まり積み重なる
異質なもの
分離
底に沈み
じわじわと固まってゆ
柔らかさと堅さ
肌理細かい
ざらざらした
滑らかな
鉱物的
拡散
漂い広がる
解き放たれた
宙を漂う

風に揺らぐ物音
身近な人々
囁き声
自分自身の根
忘却
霞のかかった
静謐な
曖昧な
遠い記憶
仄暗く寂しげな風景
忘れてしまった

遠離って
きらきらと反射する
光
繊細
しなやかさ
稀薄な
揺らぎ
瞬間的な煌めき

抽出したキーワードをグループにします。似ていると感じるキーワードをまとめてみましょう（自分自身の視点でかまいません）。この作業は、2つの提案の背景を探ることが目的です。共通している点や異なっている点を探りながら、シーズンの方向性を見出してゆきます。

存在
足下を見つめ直す
ルーツを求め
本当の姿
起源
自分自身の根
源となる水

光の射す
世界を照らす光
きらきらと反射する
光
瞬間的な煌めき

風に揺らぐ物音
静謐な
囁き声
繊細
しなやかさ
揺らぎ
肌理細かい
滑らかな

穏やかな変化
ゆっくり変化する
静かな化学反応
化学変化
じわじわと固まってゆく

湿り気のある風

泡立つ
濁ったような

新しい姿
新しいステージ

安心できる場所
穏やかな
健やかな
気持ちが安らぐ
体に馴染み
身近な人々
帰還

仄暗い
仄暗く寂しげな風景
霞のかかった
懐かしい
曖昧な
稀薄な
境界が失われ

解き放たれた
宙を漂う
漂い広がる
拡散
浮かぶ
ブラウン運動

破裂する
弾ける
膨らみ
膨張
しばむ
膨らみ弾ける

融解
溶ける解ける融ける
混ざる

忘れてしまった
忘却
遠い記憶
遠離って
消える

湧き出す感情
活力を生み出す炎
命を育む土
成長
瑞々しさ
過剰なエネルギー
熱運動
熱振動
形を歪ませながら
内部に秘めた

崩壊と再生
柔らかさと堅さ
力強さと脆さ
期待と不安

異質なもの
異質なもの
分離
沈殿
底に沈み
溜まり積み重なる

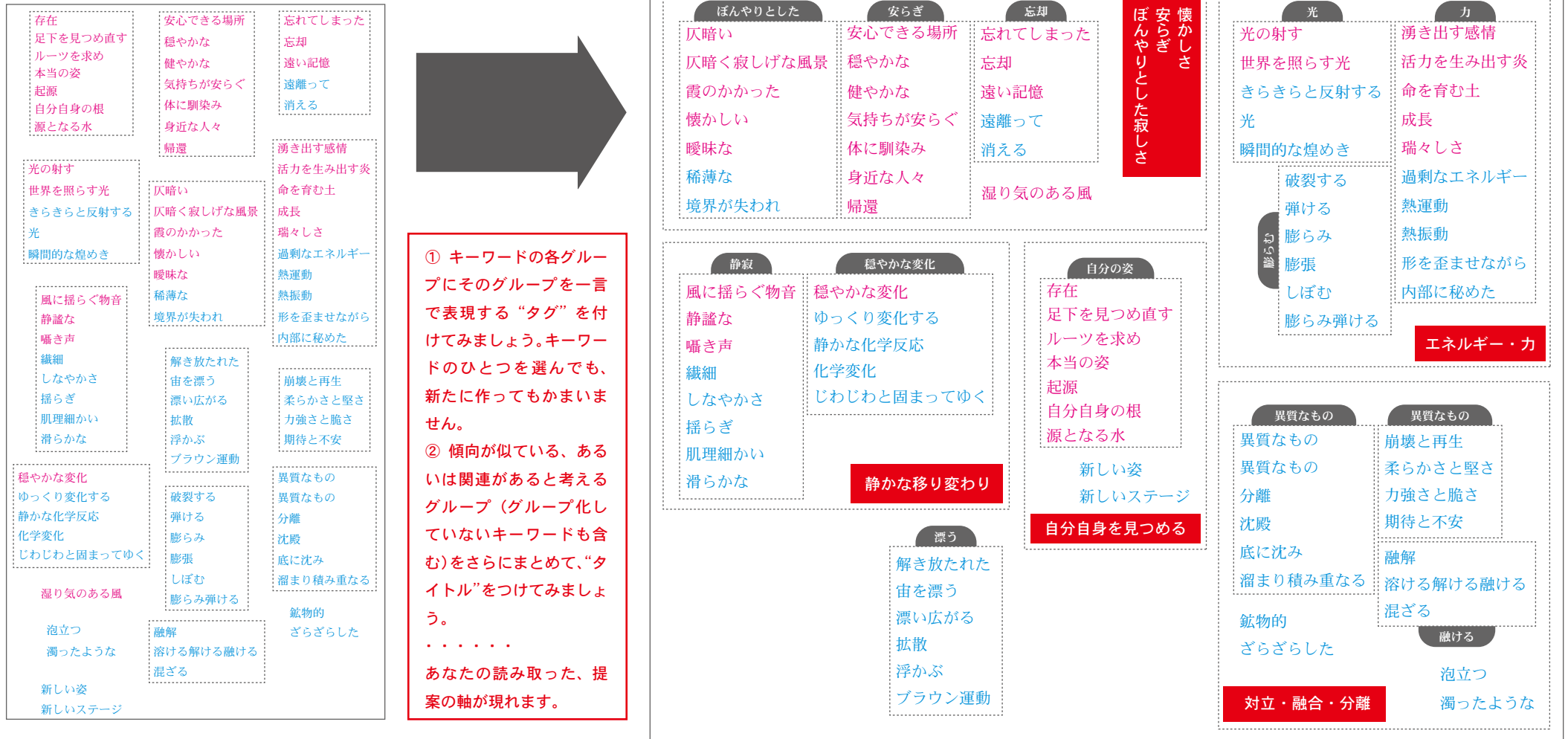
鉱物的
ざらざらした

※わかりやすくするために色を変えています。
実際の作業は同じ色でかまいません。

1. 資料の分析 - キーワードの抽出と整理 step3

グループにしたキーワードをさらに整理します。

そこから、このシーズンにおける提案の大きな方向性を見出します。



ふたつの提案に含まれたキーワードを総合的に分析すると、4つの軸を読み取ることができます。

- ① 自分自身を見つめる姿勢（ルーツを求める／起源／本当の姿……etc.）
- ② 心の中で感じる懐かしさや寂しさ、安らぎ、記憶（懐かしい／安心できる場所／忘却……etc.）
- ③ 静かな移り変わり（静謐な／揺らぎ／穏やかな変化……etc.）
- ④ 力強さや変化を促すエネルギー（瞬間的な煌めき／破裂する／活力を生み出す炎／内部に秘めた……etc.）

また、異物や異質の対立や融合、分離を示唆する視点も見ることができます。

これらから、“自己を中心に据えた静かで穏やかな、やや寂しくもある心象や世界と、秘められた活力が引き起こす変化”を提案の背景に見出すことができます。

1. 資料の分析 - 「課題 1」 解答用紙の作成

ここまでの分析から、課題 1 の解答を作成します。

① 提案色の傾向

- ・「提案色の傾向を読む step4」のまとめを記入。
- ・ Hue & Tone、Tone の各表に提案色の色相、トーンをプロット。
まとめの記述に合わせて、表中の特徴的な分布箇所をわかりやすく指示。

② キーワードの分析

- ・「キーワードの抽出と整理 step3」のまとめを記入

※実際の試験では、特にまとめ方の指示はありません。

ここで示した解答は、あくまでも一例です。

◎ 解答作成の留意点

- ・内容を完結に記述しましょう。
- ・資料との関連がわかりやすく記述、作成しましょう。

試験では、Hue & Tone、Tone の表への記入は任意とされていますが、分析結果を具体的に見せるためには、適切に活用することが望ましいでしょう。
キーワードも資料内の言葉を示しながらまとめると関連がわかりやすくなります。

- ・資料を客観的にまとめることを心がけましょう。

資料に記述されていない事柄（現在の社会、ファッション状況など）は必要ありません。

また、資料との関連が薄い主観的な考えも必要ありません。

実際の試験は3時間ですが、資料の分析が不完全だと、課題 2、課題 3 の内容にも影響し、全体として弱い提案になってしまいます。

資料の分析は、慌てずにある程度時間をかけましょう。

ただし、時間を掛けすぎると、後の課題が出来なくなります。

予め、過去問題などで時間をかけて練習して下さい。

手順が理解できれば、途中のプロセスを簡略しても、適切な解答作成ができるようになります。

「提案色の傾向を読む」のまとめ

「キーワードの抽出と整理」のまとめ

まとめに合わせて、特徴的な分布箇所を指示
A・Bの提案色をプロット

課題 1 資料の分析

■ 20xx Autumn-Winter LADIES' COLOR 予測情報の分析

資料 A・B で提案された色の傾向は以下のようになります（下図参照）。

【色相・トーンの傾向】 ・暖色系が比較的多い。 ・暗清色系が比較的多い。
・高彩度色が目立つ。

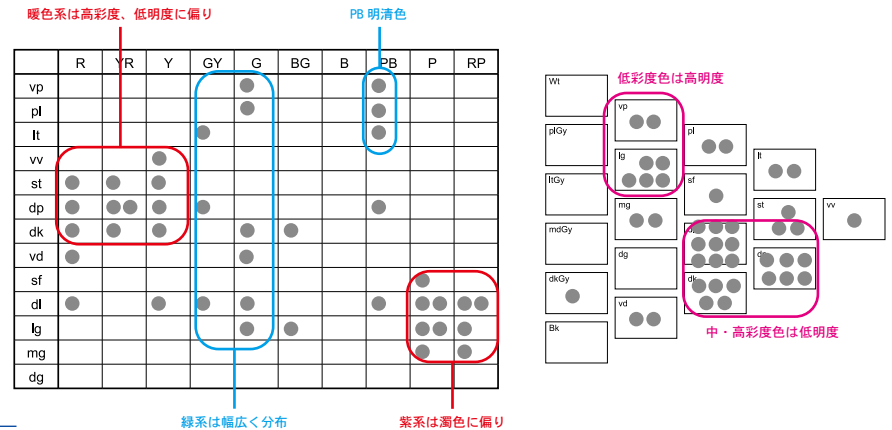
【分布の特徴】 ・暖色系と紫系に集中が見られる……暖色系は高彩度から暗清色に、紫系は濁色に偏りがある。
・PB の明清色に特徴がある。また、トーンは分散しているが緑系の出現も目に留まる。
・低彩度色は比較的低明度が低く、中～高彩度色は比較的低明度が低い。

ふたつの提案に含まれたキーワードを総合的に分析すると、4つの軸を読み取ることができます。

- ① 自分自身を見つめる姿勢（ルーツを求める／起源／本当の姿……etc.）
- ② 心の中で感じる懐かしさや寂しさ、安らぎ、記憶（懐かしい／安心できる場所／忘却……etc.）
- ③ 静かな移り変わり（静謐な／揺らぎ／穏やかな変化……etc.）
- ④ 力強さや変化を促すエネルギー（瞬間的な煌めき／破裂する／活力を生み出す炎／内部に秘めた……etc.）

また、異物や異質の対立や融合、分離を示唆する視点も見ることができます。

これらから、“自己を中心に据えた静かで穏やかな、やや寂しくもある心象や世界と、秘められた活力が引き起こす変化”を提案の背景に見出すことができます。



資料 A・B の提案色の色相、およびトーンの分布

1. 資料の分析 - 「課題 1」 解答用紙の作成 2

ファッション色彩能力検定 1 級 C 科目 解答用紙

課題 1 資料の分析

■ 20xx Autumn-Winter LADIES' COLOR 予測情報の分析

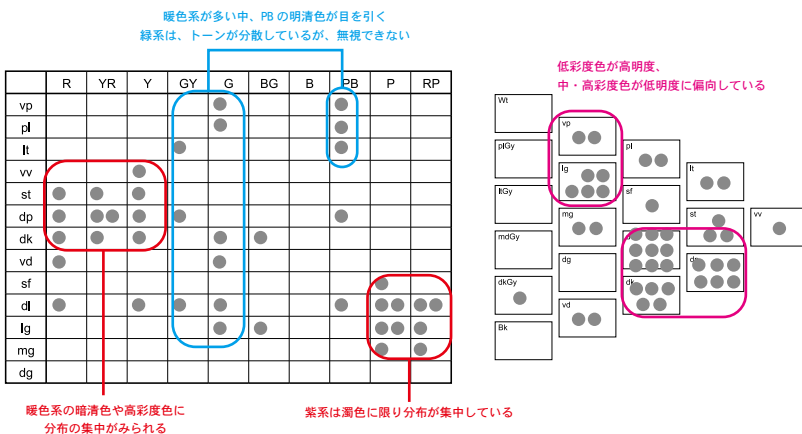
資料 A・B で提案されている 41 色の内訳を色相、およびトーンの分布でとらえると、色相は R～Y の暖色系、トーンでは暗青色が比較的多いことがわかる。また、dp、st など高彩度の色も目立つ。色相とトーンを合わせてみても、暖色系の暗青色や高彩度色に分布の集中がみられる。また、紫系（P、RP）は濁色に限り分布が集中している。出現数は少ないものの、暖色系が多い中、PB の明青色が目を引く。緑系（GY、G）については、トーンが分散しているため目立たないが、数としては無視できない。

トーンのための分布では、低彩度色が高明度、中・高彩度色が低明度に偏向していることがわかる。

各パレットのテーマや説明中のキーワードを総合的に分析すると、4 つの軸を読み取ることができる。

「ルーツを求める」「本当の姿」などから『自分自身を見つめる姿勢』が 1 つの主題として現れる。また、「懐かしい」「安心できる」「忘却」などから、『懐かしさと寂しさ』と『安らぎ』が入り交じった心象が「静謐な」「穏やかな変化」などから物事が『静かに変化』してゆく様子がうかがえる。こうしたややストイックな姿勢に対抗するように「煌めき」「活力を生み出す炎」「破滅」など『力強さ』や『秘められたエネルギー』を感じさせる言葉がコントラストを作り出している。また、「異質」「融合」「分離」など対立の関係を示唆する視点ある。

これらから、“自己を中心に据えた静かで穏やかな、やや寂しくもある心象や世界と、秘められた活力が引き起こす変化”をひとつのストーリーとして提案の背景に見出すことができる。



資料 A・B の提案色の色相、およびトーンの分布

解答の書式は特に指定されていません。

同じ内容で書き方の異なった例を示します。

ファッション色彩能力検定 1 級 C 科目 解答用紙

課題 1 資料の分析

■ 20xx Autumn-Winter LADIES' COLOR 予測情報の分析

資料 A・B のパレットには、色相、トーンの視点から以下のような傾向を見いだすことができる。

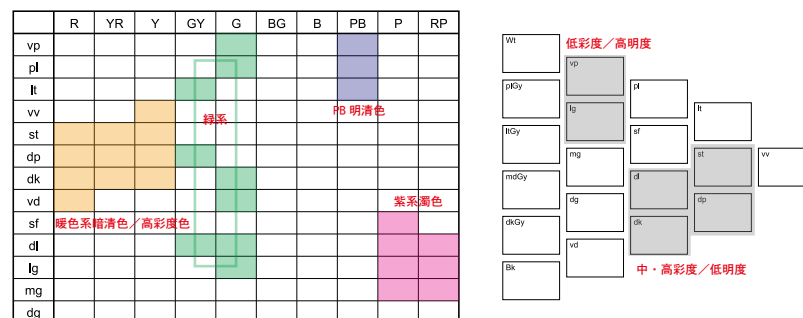
- ・色相については暖色系が比較的多い。
- ・トーンについては暗青色系が比較的多い。また、高彩度色が目立つ。
- ・暖色系は高彩度から暗青色に集中している。
- ・紫系が濁色に集中している。
- ・PB の明青色や、トーンは分散しているが緑系の出現も目に留まる。

各パレットのテーマやキーワードからは 4 つの軸を読み取ることができる。

- ・ルーツを求める／起源／本当の姿 etc. —— 自分自身を見つめる姿勢
- ・懐かしい／安心できる場所／忘却 etc. —— 心の中で感じる懐かしさや寂しさ、安らぎ、記憶
- ・静謐な／揺らぎ／穏やかな変化 etc. —— 静かな移り変わり
- ・瞬間的な煌めき／破滅する／活力を生み出す炎／ etc. —— 力強さや変化を促すエネルギー

他にも、異物や異質の対立や融合、分離を示唆する視点もある。

これらの軸から、“自己を中心に据えた静かで穏やかな、やや寂しくもある心象や世界と、秘められた活力が引き起こす変化”を提案の背景に見出すことができる。



資料 A・B の提案色の偏り

2. 商品色の提案【設問】

課題 2：商品色の提案

「課題 1」の分析を踏まえ、レディスウェアの商品色、およびカラーコーディネーションの提案を下さい。なお、提案対象のファッションイメージは次から選択する。

「エレガンス」「ロマンティック」「エスニック」「スポーティブ」

提案する各内容については、解答用紙の所定の欄に記述し、必要な箇所には色票を切り貼りして解答を作成下さい。

【提案内容】

1. テーマ／コンセプト
資料 A・B の分析結果を踏まえ、商品色彩のテーマやコンセプトを策定し記述。
2. イメージ
テーマやコンセプトの背景にあるイメージについて記述。
3. 提案色
テーマやコンセプトに沿って、20xx 秋冬に向けた提案色を 3 色選ぶ。
選んだ色は配布された色票から切り出し、所定の欄に貼付。
4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例
「3. 提案色」で選んだ 3 色をベースカラーとした配色例（ベースカラー 1 色 + アソートカラー 2 色の 3 色配色）を、それぞれ 2 例ずつ、色票を使って作成する。また、その配色方法、その理由など、配色について解説。
※アソートカラーは、無彩色も含め自由に選択。

■与えられた情報を必ずふまえること

あくまでも資料をいかに読み取り、提案につなげてゆくかの手際が大切です。

「色相」「明度」「彩度」「トーン」などの専門用語や「フォ・カマイユ」などの配色名は適切に使ってください。

情報との関連はもとより、提案内容の中での整合性も求められます。テーマから配色まで、一貫性のある提案を心がけましょう。

ファッション色彩能力検定 1級 C科目 解答用紙

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

課題 2

商品色の提案

1. テーマ／コンセプト

2. イメージ

3. 提案色

trend color A	trend color B	trend color C
A	B	C

4. 提案色を使ったカラーコーディネート例

Aの配色例 1	Bの配色例 1	Cの配色例 1
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color

Aの配色例 2	Bの配色例 2	Cの配色例 2
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color

カラーコーディネーションの説明

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題 2 商品色の提案

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Figure 1 consists of three square panels arranged horizontally, labeled A, B, and C. Each panel contains a solid gray square. Panel A is labeled 'trend color A', Panel B is labeled 'trend color B', and Panel C is labeled 'trend color C'.

A の配色例 1

base color (trend color A)
assort color
assort color

B の配色例 1

base color (trend color B)
assort color
assort color

C の配色例 1

base color (trend color C)
assort color
assort color

A の配色例 2

base color (trend color A)
assort color
assort color

B の配色例 2

base color (trend color B)
assort color
assort color

C の配色例 2

base color (trend color C)
assort color
assort color

[illegible]

2. 商品色の提案 – 課題の概要、留意点

課題1『情報の分析』の結果を受けて、シーズンに向けた商品色の提案をします。
提案には以下の内容を求められます。

- ① ファッションイメージ（指定されたいくつかのイメージの中から選びます）
．．．
- ② テーマ、コンセプト
- ③ イメージ
- ④ 提案色
．．．
- ⑤ 提案色を使ったカラーコーディネーションの例

原則として①から順番に作成してゆくのが基本ですが、①～④は、提案として一体になっています。決定しやすいところから考えてもいいでしょう。

以下の点に留意し、提案を作成してください。

■与えられた情報を必ずふまえること

提案内容のオリジナリティや実際のトレンドとの関連などは特に評価されません。
あくまでも資料をいかに読み取り、提案につなげてゆくかの手際が大切です。与えられた情報をよくかみ砕き、根拠のある提案を心がけてください。

■色彩の専門用語は適切に使うこと

「色相」「明度」「彩度」「トーン」などの専門用語や「フォ・カマイユ」「トーン・オン・トーン」「トーン・イン・トーン」などの配色名は使うべき箇所です。適切に使ってください。色彩の検定試験ですから、用語の使い方が間違っていたら、大きな減点になります。

■内容をすべて考えた上で答案の作成をすること

解答用紙に記述、作成する前に、内容の全体を決定しておきましょう。
情報との関連はもとより、提案内容の中での整合性も求められます。例えば、選んだファッションイメージと、提案色や配色がコンセプトやイメージを介してつながっていなければなりません。提案の流れを意識しながら、内容に一貫性があるよう心がけましょう。

課題2 商品色の提案

1. テーマ／コンセプト

2. イメージ

3. 提案色

trend color A	trend color B	trend color C
A	B	C

4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例

Aの配色例1	Bの配色例1	Cの配色例1
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color
Aの配色例2	Bの配色例2	Cの配色例2
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color

カラーコーディネーションの説明

2. 商品色の提案 - ファッションイメージ

① ファッションイメージ

検定試験では、この提案を作成する時にいくつかのファッションイメージから全体の方向性を示すことが求められます。『ファッション色彩Ⅱ』に採録されている以下の8つのイメージについて出題される可能性があります。

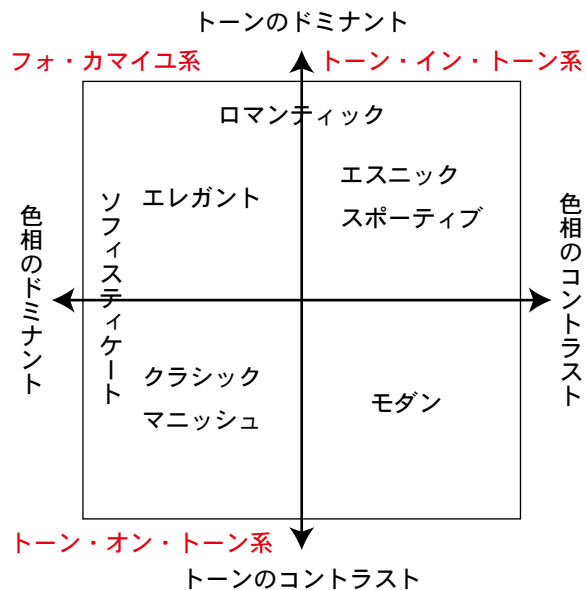
各イメージのベースカラーについては『ファッション色彩Ⅱ』を参照してください。

テキストの通りの色を選ぶ必要はありませんが、イメージから外れすぎていると提案に無理が出てきます。

各イメージの配色には留意しましょう。色そのものが典型的ではなくても、配色の仕方で雰囲気を出すことができます。色相・トーンのリニアリティ、コントラストに着目すると次のように整理することができます。

コンセプトやイメージの説明に大きな矛盾がなければ、必ずしもこの通りの配色を使う必要はありません。あくまで参考と考えてください。

その上で、提案する色や内容に合わせ、無理のないイメージを選ぶようにしましょう。



エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

課題2 商品色の提案

1. テーマ/コンセプト

.....

.....

.....

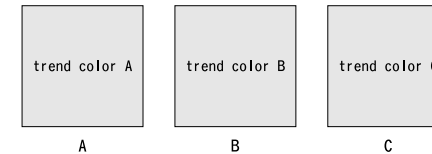
2. イメージ

.....

.....

.....

3. 提案色



4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例

Aの配色例1	Bの配色例1	Cの配色例1
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color
Aの配色例2	Bの配色例2	Cの配色例2
base color (trend color A)	base color (trend color B)	base color (trend color C)
assort color	assort color	assort color
assort color	assort color	assort color

カラーコーディネーションの説明

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 商品色の提案 - テーマ／コンセプト、イメージ

② テーマとコンセプトの策定、および、イメージの提示について

テーマ、コンセプト、イメージを記述します。

この3つを混同してしまうケースがよくあります。それぞれを区別して考えましょう。

また、テーマやコンセプトは、先のファッションイメージとも関係します。両者の整合性が失われないよう留意しましょう。

● テーマ：主題の提示

テーマは、提案全体を一言で表現するキーワードと考えましょう。

『情報の分析』を受ける内容であれば、特に選び方はありません。資料のキーワードから見つけるのもよいでしょう。内容にかなっていれば自分の言葉でもかまいません。

● コンセプトの策定：色彩に対する考え方を示す

コンセプトは、考え方です。この場合は色彩に対する考え方になります。

どんな視点で選んだ色彩か、色彩にどんな効果を求めるか、などを説明してください。

● イメージ：テーマの背景にあるさまざまなイメージ

色彩から連想される“具体的な”物事、情景などを示してください。

※コンセプトかイメージか？

コンセプトとイメージは、内容が重なる場合もありますがその目的は明確に違います。

例えば――

『かわいい』……これだけではコンセプトかイメージかわかりません

『かわいらしさを表現する』……これは“考え方”ですからコンセプトです。

『子猫のようにかわいい』……これは具体的な“連想”ですからイメージです（※）。

※かわいい、だけでは具体的な想像につながらず、イメージとしては弱い。

【作成のヒント】

キーワードの分析で、示されたいくつかの“軸”を元に考えるのが基本です。

進め方としては、いくつかの方法が考えられます。

(1) 最初にファッションイメージを決め、分析で得た軸の中から適切なものを選び、ファッションイメージに合わせるようにしてコンセプトを構築する。

(2) 分析で得た軸のうち、ひとつを選び、それをもとにコンセプトを構築する。その結果によって適切なファッションイメージを選ぶ。

(3) 分析で得た軸のうち2つ程度を組み合わせるコンセプトを構築する。その結果によって適切なファッションイメージを選ぶ。

□ ファッションイメージを最初に決めて、コンセプトを構築した例

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題2商品色の提案

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

1. テーマ コンセプト

『ノスタルジー』

あわただしい日常から離れ、ひとりでなつて自分自身を振り返つた時、過去の記憶にぼんやりとした懐かしさや安らぎを感じます。忘れてしまひそうになつて、自分の姿を見つけた安心感やほのかな喜びがにじみ出る……しばしの安息と静かに変化する自分自身を見つめ直す。

2. イメージ

記憶の中の景色 遠くから聞こえる声 ほのかに暖かい陽射し ハーブ

空の青さと夕日の赤さが混じり合う紫色の夕焼け

忘れていた友達との古い写真を見つけたときのような、寂しくもうれしい気持ち

木管楽器の音色のように暖かい息吹を感じる

3. 提案色

trend color A

A

trend color B

B

trend color C

C

4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例

Aの配色例1

Bの配色例1

Cの配色例1

Aの配色例2

Bの配色例2

Cの配色例2

カラーコーディネーションの説明

課題1のキーワード分析や、抽出したキーワード群を引用しながら、コンセプトを作成

テーマから連想する物事や、コンセプトから思い浮かべる具体的な情景を記述

2. 商品色の提案 - 提案色と配色

③ 提案色

テーマ、コンセプト、イメージを踏まえて提案色を3色選びます。

資料の色を必ずしも使う必要はありませんが、資料に基づきコンセプトやイメージを考えました、色彩も資料を基準にしながら選ぶことで、提案全体の一貫性が保ちやすくなります。

また、特に問題には指示されていませんが商品色の提案という前提から、3色は商品のカラーバリエーションと考え、色を選びましょう。

【提案色選びの視点】

- (1) 色相…… 原則として、3色の色相はなるべく異なったものを選びます。
- (2) トーン…… 色彩におけるイメージの共通性は、多くをトーンに依存します。
3色のトーンは何かしらの共通性を持たせておくとういでしょう。

例1. 同一トーンにする

例2. 「清色」から選ぶ（「濁色」から選ぶ）

例3. 「低彩度」でそろえる（「高彩度でそろえる」）

……etc.

これはあくまでも例です。コンセプトやイメージにかない、カラーバリエーションの広がりを感じられる選択を工夫しましょう。

④ 提案色を使ったカラーコーディネーションの例

提案色として選んだ3色を使って各2例ずつ、配色例を作成します。

コンセプトやイメージを表現するつもりで配色を考えましょう。

【配色の考え方】

設定したファッションイメージに注目し、基本的な配色の考え方を決めましょう。

基本的な配色は大きく次の2種類に分かれます。

A. 色相のドミナント（フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン）系

B. トーンのドミナント（フォ・カマイユ／トーン・イン・トーン）系

いずれかを選び、制作する6種類の配色すべてを同じ考え方で統一します。

同じ色を基調色とする配色については、少し雰囲気を変えるようにしましょう。

イメージに沿った範囲で最大限、いろいろなバリエーションができるよう、考えましょう。

グラデーションやアクセントカラーなどを活用してもかまいません。

理論通りである必要はありませんが、理論を踏まえて作成するよう心がけましょう。

「カラーコーディネーションの説明」は、イメージとの関連、基本的な考え方、活用する配色方法や配色のテクニックなどを記述してください。

中彩度、低彩度の彩度を抑えたトーンで揃え、明度には変化をつける。

紫系を主要な色とし、バリエーションとして、資料に登場した緑系、黄系。

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題2 商品色の提案

1. テーマ/コンセプト

『ノスタルジー』

あわただしい日常から離れ、ひとりになって自分自身を振り返った時、過去の記憶にぼんやりとした懐かしさや安らぎを感じます。忘れてしまいそうになっていた自分の姿を見つけた安心感やほのかな喜びがにじみ出る……
しばしの安息と静かに変化する自分自身を見つめ直す。

2. イメージ

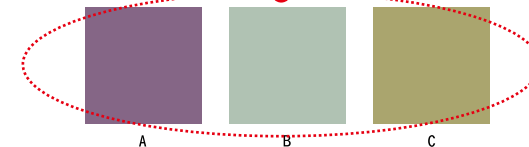
記憶の中の景色 遠くから聞こえる声 ほのかに暖かい陽射し ハーブ

空の青さと夕日の赤さが混じり合う紫色の夕焼け

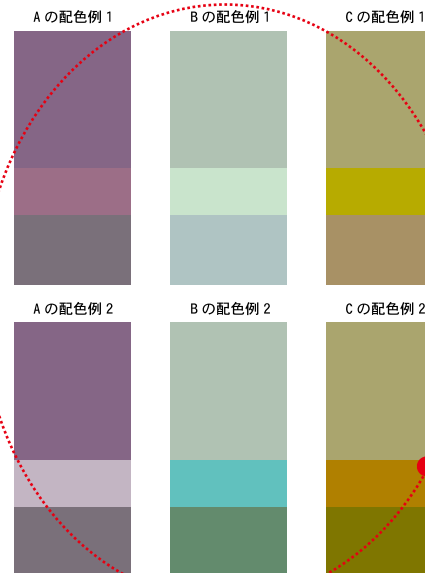
忘れていた友達との古い写真を見つけたときのような、寂しくもうれしい気持ち

木管楽器の音色のように暖かい息吹を感じる

3. 提案色



4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例



カラーコーディネーションの説明

エレガンス、ぼんやり、ほのかな、安心感、暖かいなどのコンセプトやイメージから、穏やかなイメージを引き出しやすい色相によるドミナント配色を基本と考え、各提案色に対するフォ・カマイユ配色を提案の典型的な配色とする。
また、その展開として、濁色でまとめたトーン・オン・トーン系の配色や、彩度を抑えた基調色に対して、同一色相、類似色相の高彩度色で変化のある配色をする。
ただし、コントラストが強くなりすぎないように注意する。

説明との整合性が重要。

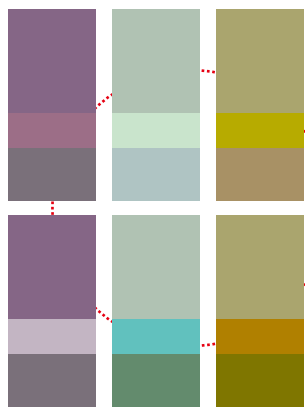
3. 商品陳列における色彩構成 — グループینگとゾーニング

① 提案色のグループینگ

課題2で提案した色（提案色3色＋配合色）をすべて並べて、いくつかグルーピングしてみます。

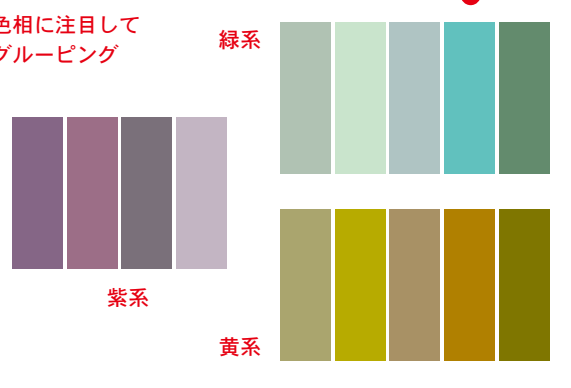
配色をバラバラにして、3～4つのグループに分けてみましょう。同じ色でもいくつかの分け方を試して、提案のイメージに適したグルーピングを採用しましょう。

課題2で作成した配色
（提案色＋配合色）

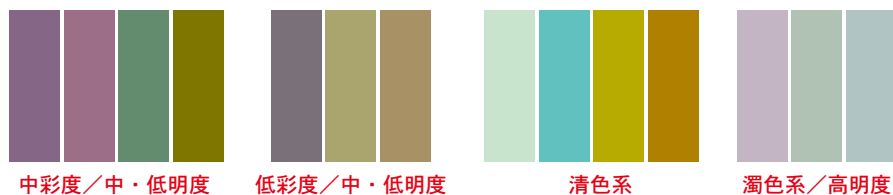


こちらを採用

色相に注目して
グルーピング



トーン（明度・彩度）に注目してグルーピング



② 店舗内でのゾーニングを検討しながらグルーピングした色を配置、構成

グルーピングした色を解答用紙の図に並べ、だいたいの配置とゾーニングを考えます。ラックやテーブルに色を置きながら見当をつけてゆきましょう。

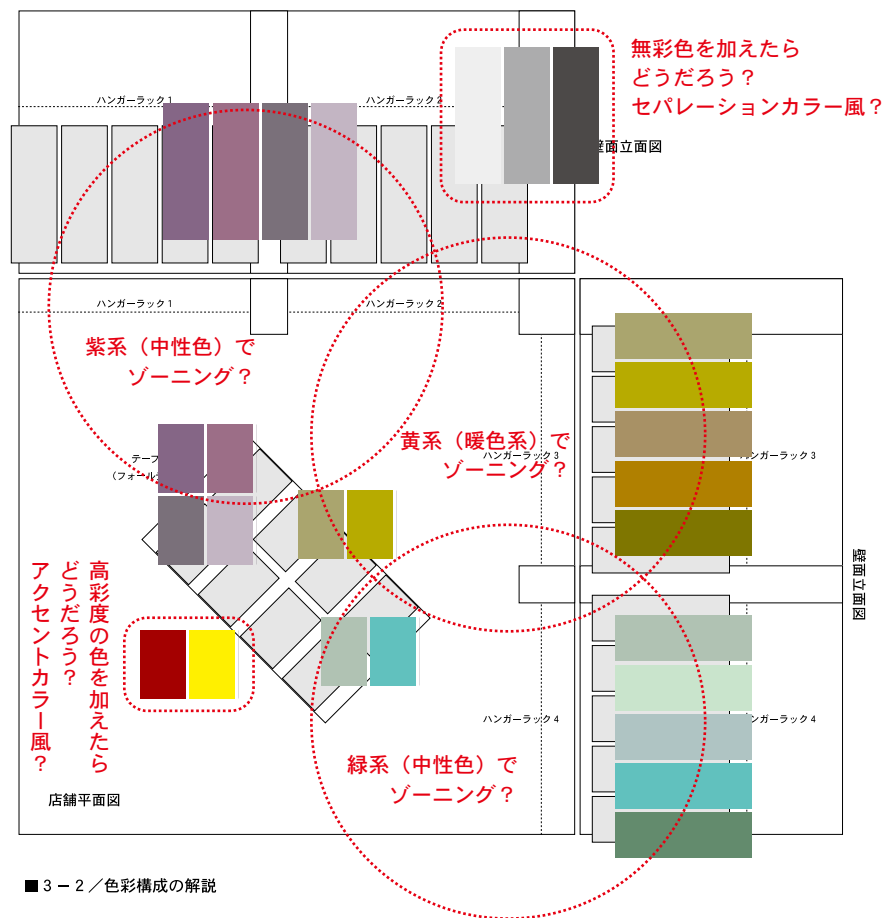
③ 色彩のグルーピング、ゾーニングをふまえ、付け加える色を検討

課題2で提案した提案色および配合色以外の色を加えることも許されています。色の配置を考えながら、他にどんな色を加えたらいいかも検討してゆきましょう。

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題3 商品陳列における色彩構成

■ 3-1 / IPの色彩構成



■ 3-2 / 色彩構成の解説

テーマにあわせて、色相によるグルーピングを採用。
暖色を紫系と緑系で挟むようにゾーニング。
セパレーションカラー的に活用できる無彩色を加える
アクセントカラーとなる高彩度の色を加える。

3. 商品陳列における色彩構成 - IPの決定／解答の作成

④ 各色のボリュームや新たに加えた色の配置を決定

解答用紙の欄（ハンガーラック、テーブル）にあわせ、色を並べてゆきます。
設定したゾーニングを崩さないよう、新たに加える色の配置を決定しましょう。
同じ色を繰り返し使ってもかまいません。
「提案色」3色のボリュームは大きめにすると提案からの整合性が保たれます。

⑤ 色の順番を調整

各色を並べる順番を調整し、決定します。
落ち着いたイメージの提案であれば、グラデーションのような自然な連続が適当です。
賑やかな印象をつくるのであれば、色相や明度のコントラストを活かしましょう。

※最終的には見た目の問題です。

ちゃんとした意図があれば、どのような順番で並べてもかまいません。

⑥ 解答の作成

ここまでの作業を解答として作成します。

● 課題3-1 / IPの色彩構成

解答用紙に、色紙を貼って解答を作成します。
グルーピングやゾーニングの範囲など、解答内に書き込んでもかまいません。
色のついた筆記用具も使用可能です。
どのように構成したかをわかりやすく作成してください。

● 課題3-2 / 色彩構成の解説

どのような意図をもってグルーピングやゾーニングをしたかを中心にして解説してみましょう。また、色の配列にどのような色彩的な効果を期待するかなども説明してください。

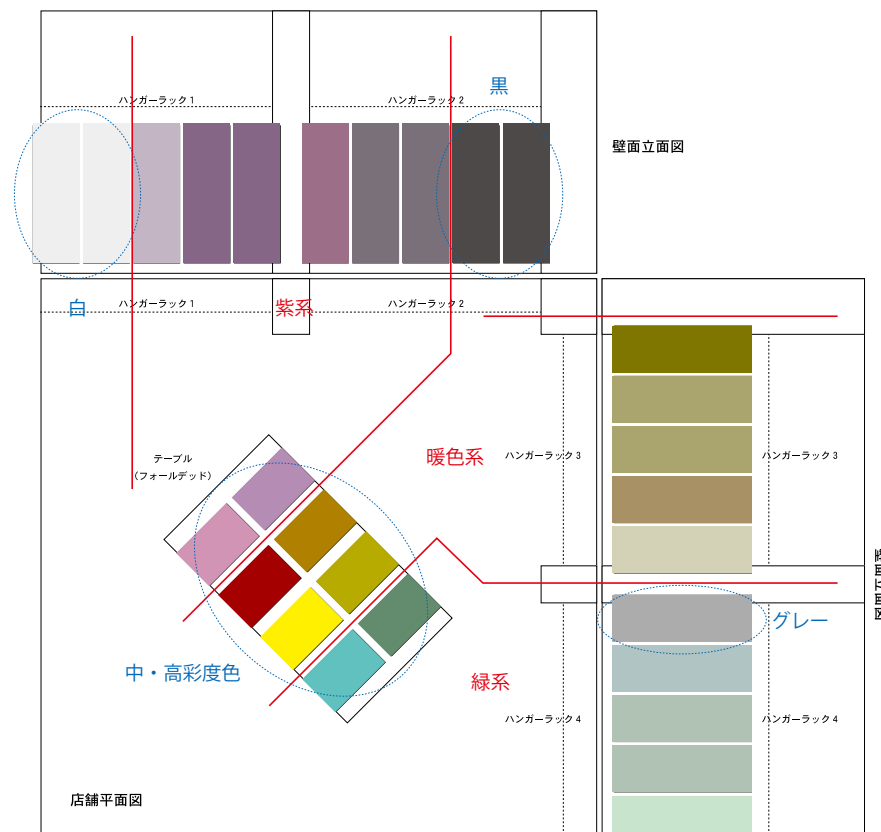
※大切なことは、課題2の提案に準じたイメージや印象を維持することです。

出来上がったら、課題1、2、3を並べ、矛盾なく計画されているかを確認しましょう。

※未完成は評価されません。課題1、2、3の全てが完成して、はじめて評価されます。試験時間（3時間）は決して充分ではありませんが、完成までの時間配分に注意しながら、必ずすべてを完成させてください。

課題3 商品陳列における色彩構成

■ 3-1 / IPの色彩構成



■ 3-2 / 色彩構成の解説

テーマ『ノスタルジー』のもつ穏やかでほんやりとした色彩の雰囲気を演出するため、色相によるゾーニングを基本とする。紫系、暖色系、緑系の3つのゾーンに分け、白・黒・グレーの無彩色を各ゾーンの間に挟みセパレーションカラーの効果を期待する。

壁面のラックには比較的彩度の低い色を陳列し、空間全体の基調とする。中央のテーブルにはやや彩度の高い色を置くことで、誘目性を高くし、またアクセントとして店舗内の印象を強くする。

また、各ゾーンのラックでは、自然な奥行きが感じられるように、グラデーション風にコントラストを抑え、店舗奥に向かって暗い色を配置する。

2-3. 商品色の提案／商品陳列における色彩構成 解答例 1

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題2 商品色の提案

1. テーマ／コンセプト

『ノスタルジー』

あわただしい日常から離れ、ひとりになって自分自身を振り返った時、過去の記憶にぼんやりとした懐かしさや安らぎを感じます。忘れてしまいそうになっていた自分の姿を見つけた安心感やほのかな喜びがにじみ出る……しばしの安息と静かに変化する自分自身を見つめ直す。

2. イメージ

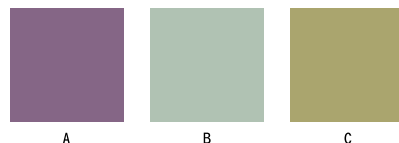
記憶の中の景色 遠くから聞こえる声 ほのかに暖かい陽射し ハーブ

空の青さと夕日の赤さが混じり合う紫色の夕焼け

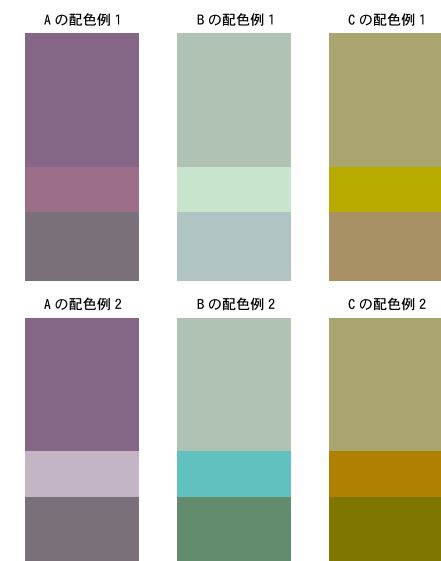
忘れていた友達との古い写真を見つけたときのような、寂しくもうれしい気持ち

木管楽器の音色のように暖かい息吹を感じる

3. 提案色



4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例



カラーコーディネーションの説明

エレガンス、ぼんやり、ほのかな、安心感、暖かいなどのコンセプトやイメージから、穏やかなイメージを引き出しやすい色相によるドミナント配色を基本と考え、各提案色に対するフォ・カマイユ配色を提案の典型的な配色とする。

また、その展開として、濁色でまとめたトーン・オン・トーン系の配色や、彩度を抑えた基調色に対して、同一色相、類似色相の高彩度色で変化のある配色をする。

ただし、コントラストが強くなりすぎないように注意する。

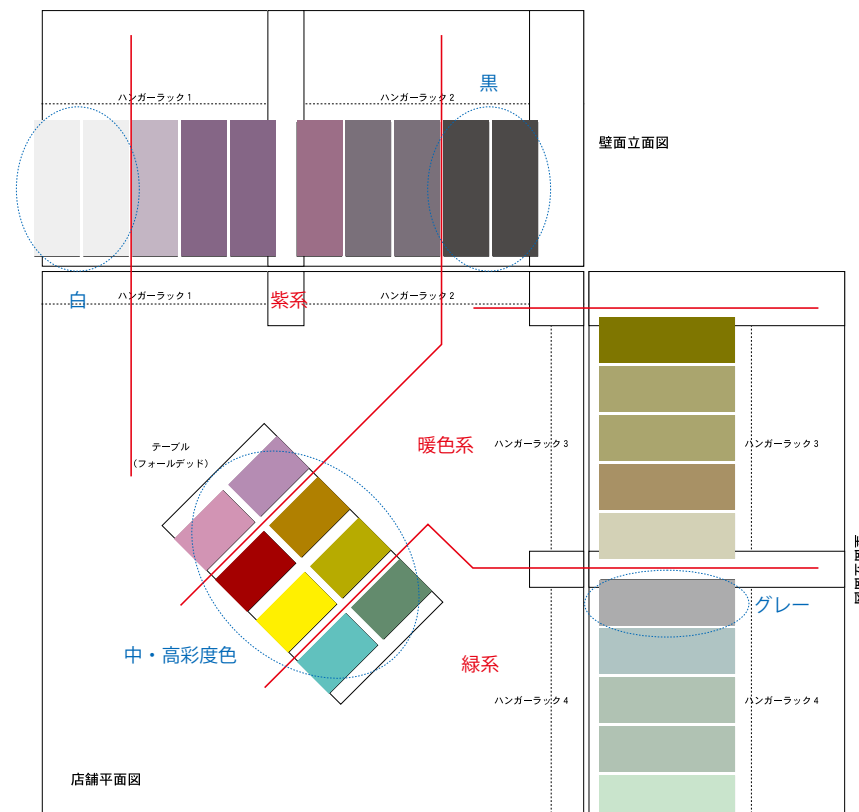
「課題2 商品色の提案」と「課題3 商品陳列における色彩構成」を並べてみます。

2つの課題に整合性がとれているかをチェックします。

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題3 商品陳列における色彩構成

■3-1 / IPの色彩構成



■3-2 / 色彩構成の解説

テーマ（『ノスタルジー』）のもつ穏やかでぼんやりとした色彩の雰囲気演出するため、色相によるゾーニングを基本とする。紫系、暖色系、緑系の3つのゾーンに分け、白・黒・グレーの無彩色を各ゾーンの間に挟みセパレーションカラーの効果期待する。

壁面のラックには比較的色彩度の低い色を陳列し、空間全体の基調とする。中央のテーブルにはやや彩度の高い色を置くことで、誘目性を高くし、またアクセントとして店舗内の印象を強くする。

また、各ゾーンのラックでは、自然な興行きを感じられるように、グラデーション風にコントラストを抑え、店舗奥に向かって暗い色を配置する。

2-3. 商品色の提案／商品陳列における色彩構成 解答例 2

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題2 商品色の提案

1. テーマ／コンセプト

『potential……』

静かな沈黙の奥に、ふつふつと沸き立つエネルギーがある。冷やかな見かけとは裏腹に熱い感情を抱きながら、それをあたかも悟られぬようにしているかのような。穏やかなだけでは終わらない。破壊的な力をぐっと押し込めたかのような緊張感を求める。

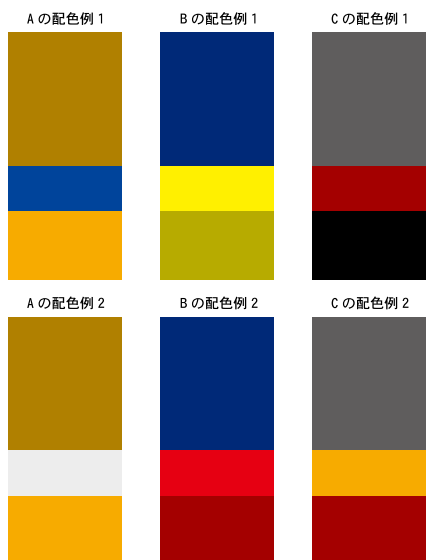
2. イメージ

一瞬だけきらめく光 秘められたエネルギー じわじわと小さく燃える炎 押し殺された声
じわじわと増す圧力 沸騰直前 スタートダッシュの瞬間 今にも破裂しそうな 息を止める 唾を飲む
息を潜め、声を潜め、気配を消して、今にも獲物に襲いかかろうとしている狼のような
全速力で走らない

3. 提案色



4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例



カラーコーディネーションの説明

力強さを感じさせる、コントラストのある配色。特に、色相と彩度のコントラストに留意する。

高彩度色による暖色系を生かしたトーン・イン・トーン風の配色や、無彩色と高彩度色を組み合わせた彩度差の大きな配色。

寒色や無彩色が基調となる場合も、暖色系をアソートカラーやアクセントカラーとして活用する。

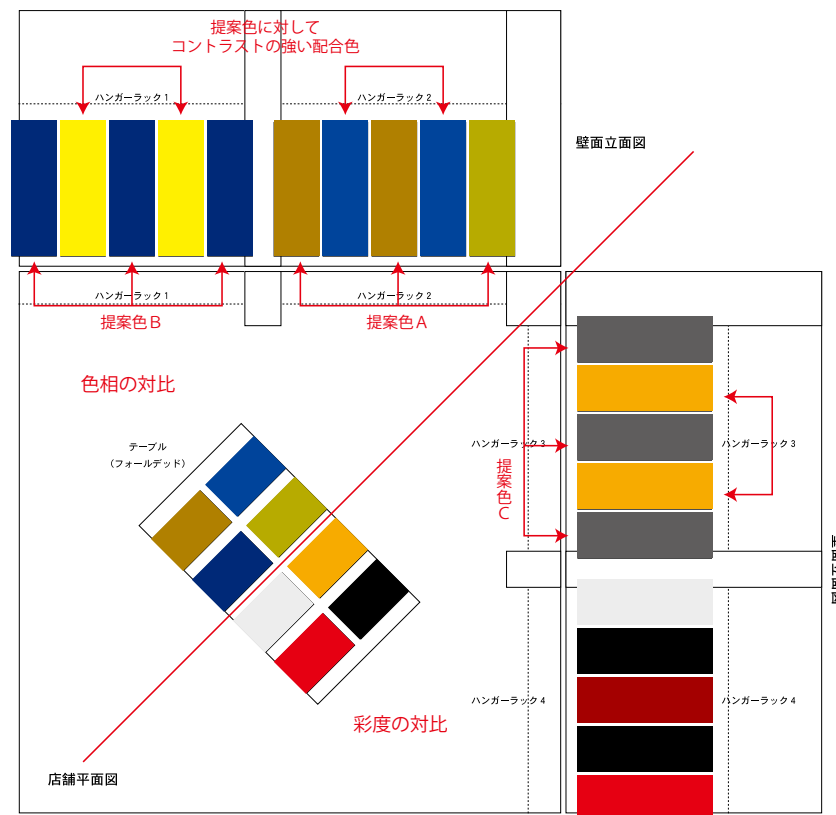
ただし、あまり彩度の高さが目立たないように。無彩色を適宜活用しながら強さと落ち着きを感じる配色に。

作成例1と同じ資料から別の提案をした例です。

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題3 商品陳列における色彩構成

■3-1 / IPの色彩構成



■3-2 / 色彩構成の解説

コンセプトに倣い、静かさとエネルギーの混在したイメージを意識した色の配列を心がける。

明度のやや低い提案色3色に対して、色相や明度、彩度でのコントラストが強くなるように隣り合う色を選ぶ。

また、同じ色をまとめるのではなく、対照的な色を交互に挟み込んで、空間全体に動きや変化を持たせる。

壁面のひとつは、青×黄×橙の色相でのコントラスト、もう一面は無彩色+高彩度の彩度でのコントラストで配列し、テーブルも含め、大きなゾーニングとする。

2-3. 商品色の提案／商品陳列における色彩構成 解答例 3

エレガンス	ロマンティック
エスニック	スポーティブ

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題2 商品色の提案

1. テーマ／コンセプト

LARGO ―― とてもゆっくりと

資料の分析から、濁色系の比較的高い色を中心としロマンティックイメージを引き出す。

穏やかさ、静謐さ、寂しさなど含みつつ、彩りの豊かさを感じさせる色や色遣いをコンセプトとする。

目立ちすぎず、ゆっくりとした変化の過程にあるような色の提案。

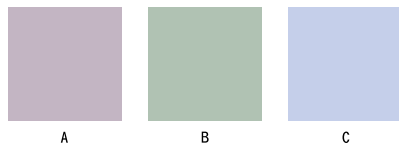
2. イメージ

穏やかな変化 肌理細かい 滑らかな 繊細 しなやかさ

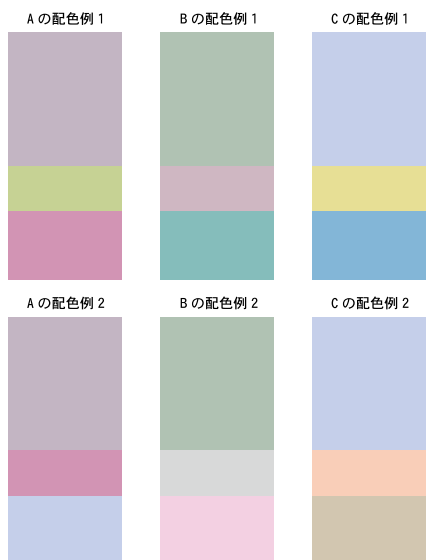
揺らぎ 音囁き声 寂しげな風景 霞のかかった

安心できる場所 気持ちが安らぐ 健やかな安らぎ

3. 提案色



4. 提案色を使ったカラーコーディネーションの例



カラーコーディネーションの説明

トーン・イン・トーン配色を目安としたトーンによるドミナント配色。配合色は色相の差を大きくし、変化をもたせる。

あるいは、フォ・カマイユ配色のように色相やトーンの類似した基調色と配合色に対して、色相によるアクセントカラーを組み合わせて変化をもたせる。

明度差は大きくならないように注意する。

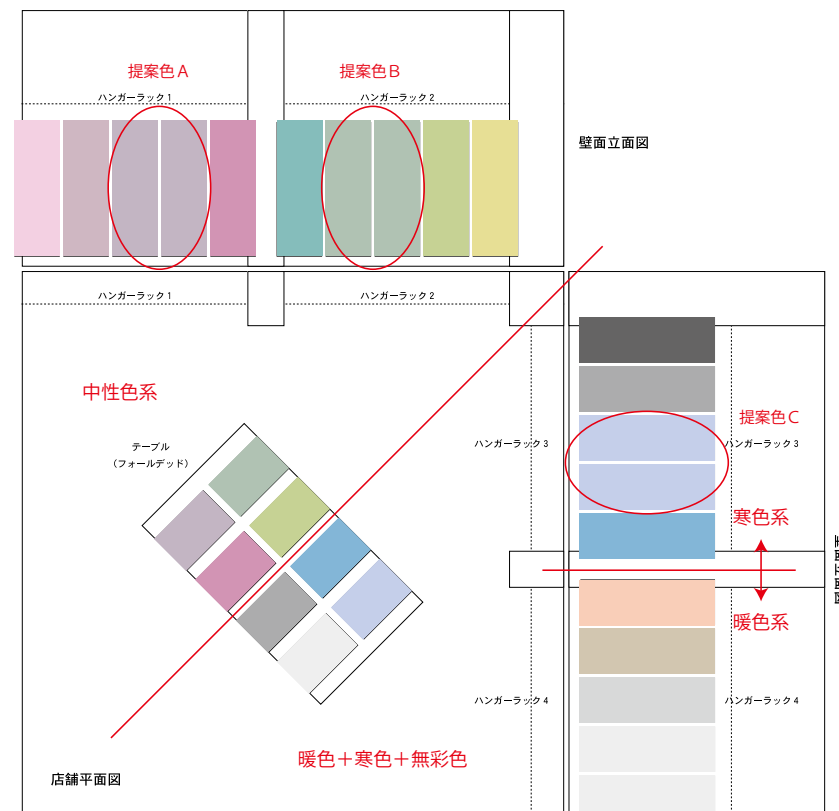
色相のコントラストや色相のアクセントの場合も、明度は基調色や配合色に近似した色を選び、変化が強くなりすぎないようにする。

作成例1と同じ資料から別の提案をした例です。

ファッション色彩能力検定1級 C科目 解答用紙

課題3 商品陳列における色彩構成

■3-1 / IPの色彩構成



■3-2 / 色彩構成の解説

テーマの背景にある“ゆっくりとした変化”を意識し、濁色系によるトーンの全体のまとまりと、部分的な色相の対比を組み合わせ、彩りの豊かさと静謐さを演出する。

色相のまとまりでひとつラックをグルーピングし、隣のラックには対照的な色相のグループを配置する。

ひとつのグループ（ラック）内では、提案色を中心にしてトーンや色相をグラデーション風に並べてぼんやりとした変化をつくる。

また、フロアはひとつの壁面側を中性色系、もうひとつの壁面側は暖色と寒色に無彩色を配置する。中性色系による温かみと、無彩色と寒色をベースとした冷たさにより全体にも穏やかなコントラスト感を作り出す。